

「真のアートは真の科学」

アートを通して体験、発見、気づき、学んだことを皆さまとシェアしたいと思いここにあらためてまとめさせていただきました。お忙しい中、体験を書いていただき協力してくださった、方々に感謝申し上げます。

真のアートは真の科学 by 中村良子先生

1942年生まれ。神奈川県出身。医師、医学博士

2004年4月より、なかむらクリニック院長

アートは金星語のアルト ARUT というファルフ (FALF) ¹ の意味。FALF はプレアデス星団のアトラス星の言語とのこと²

科学が発達していなかった昔、ギリシャ・ローマ時代は美術も音楽も医術もアートでした。ルネサンス以降、科学も芸術も進歩し、現代医学 (medicine) は医科学 (medical science) として発展していますが、昔は医術、癒やしの技 (わざ) ” art of healing ” と呼ばれていました。

さて、愛はすべての基本ですね。「愛することには、まず自分をよく知ること」というエッセーのタイトルは「The Art of loving」(エーリッヒ・フロム著、1899年)。このアートを芸術と訳しても技術と訳してもおかしいですね。鈴木晶訳では「愛すること」となっています。ですから「アートは科学」というのは歴史的にみても当然のことと思われる。

2年半前、2020年1月30日「真のアートは真の科学 — 波動測定」というテーマで新生エンゼル・サチ実践研究会³主催の研究会が開かれました。私はPRA (Psychogalvanic Reflex Analyser: 精神電流反射分析装置)を会場に持参し参加者の絵を描く前後、自分の描いた絵を持った時のPRA値を測らせていただきました。参加者14名全員が自分の描いた絵を持った方が免疫、ストレスに対する数値が上がっていました。

例えばT.O.さんの場合、絵を描く前のPRA値は免疫(+14)、ストレス(-4)でしたが、描いた後、自分の絵を持った時は免疫(+18)、ストレス(+3)でした。参加者全員が描く前後で免疫のPRA値が4~5上昇、ストレスの場合は全員がマイナスからプラスに変化していました。

自分の絵で数値が上がる体験をされて皆さん驚いたようですが「生まれたものは本来はすべてファルフ」なのですね。皆さんと実証体験ができてうれしい時間でした。

私はほとんど薬を飲まずに生活しています。数年前、首が痛いことがありました。整形外科を受診しようかとも思いましたが薬は飲みたくありません。「クスリ」は反対読みにする
と「リスク」。そこで宮崎愛子さんの Intuition ARUT スカーフ (い) ⁴ を寝るときも首に巻
いていたら、いつの間にか、すっかりよくなっていました。

形態波動エネルギー研究所（形態研）では「真のアートは真の科学」の追窮の成果を二次
元、三次元のファルフとして世にだされています。「形態から発生するエネルギーとその発
生原理—微弱エネルギー計測とその応用展開—中村國衛・足立育朗 J. Subtle Energy
Res. 2. (1). 1997 (サトルエネルギー学会誌)」にて、文字を始めとして全ての形が固有の
エネルギーを発していることを QRS で測定し実証 (QRS—Quantum Resonance
Spectrometer: 量子共鳴解析装置は現在 PRA と名称変更されています)。

いろは・・・48 文字、アルファベット、凶形 (悪性腫瘍治療用形態、ODEO、CAU、OQUR、
CUNIEO、SIEPON EVHA の固有のエネルギーを QRS により解析しました。

PRA で宮崎愛子さん⁵の絵を測らせていただくことがあります。どれも心地良い絵で PRA
値もとても高い。「絵は人なり」と言われますが描く時の振動波が高くなければ、いわゆる
「クスリ絵」、「ファルフ」は描けません。調和のとれたファルフとの出逢いに感謝です。

私の小さな診療室は、宮崎ギャッチ郁子さん⁶のリトグラフ「ニンナのゆくえ」他、形態
研の二次元、三次元のファルフに調整していただいています。日々の診療のモットーは「私
自身がファルフになって患者様の伴走者になること」。

すべての出逢いに感謝の日々を、淡々と「今ここ」に集中してゆきたいと思っています。



Intuition ARUT スカーフ (い)

真のアートは真の科学 by 永谷信之先生

1980年 千葉大学工学部卒業 一般企業に就職
1993年 産業医科大学医学部卒業
1993年 産業医科大学病院 第2外科入局
1998年 土佐清水病院、及び、美容外科非常勤務を廉務
2006年 ナガヤメディカルクリニック⁷理事長・院長。現在に至る

人が何かを感じて書く絵には、何かのエネルギー、何かの情報が含まれているように思われます。私たちの身の回りにも古代より不思議な絵や図形が残っていて、その意味するものは科学的にも優れたものが多くみられます。

現代においても、何かをイメージした抽象的な絵が多くあります。

例えば、形態波動エネルギー研究所の足立所長の描かれた絵は、抽象的なため、どのような内容が書かれているかは、一見して分かりません。しかし、その絵を眺めていると直観で感じてくるものがあります。

その絵には一枚一枚表題がつけられています。

波動医療で使用しているPRA-NK型という中村国衛先生が作られた機械があり、これは絵や文字からでもそれぞれの絵が持つコードをとることができます。これを使って、絵のコードをそれぞれに取ってみました。

その絵の表題には、直観、進化、同調などの単語のほか、原子、中間子、原子核、陽子、中性子、電子など科学で使用される単語も見られます。

足立所長の「波動の法則」の本から、陽子、中性子、電子の情報を基にコードを取り、それらを確認したところ、陽子の絵と本の情報の陽子が一致し、中性子の絵と本の情報が一致していました。

これはまさに、「真のアートは真の科学」であることが証明されたことになると思います。

更に、著書の中には、陽子は、意志であり、愛であり、中性子は、意識であり調和であると宇宙からのメッセージでは記されていますが、これらも一致していました。

真のアートは、宇宙の科学の情報が忠実に反映されていることが証明されているのだと思います。真のアートを描かれる方々の絵は、その中に込められた内容が、地球に住む私たちへの大切なメッセージなのかも知れません。

足立幸子さん³の絵とシルバーネックレス by 只野富士男さん⁸

1991年10月頃、代官山のレストラン翔卯で初めて足立幸子さんに会いました。まだ暑い頃でしたので、ボクはTシャツにシルバーの太いネックレスを首に掛けていました。

挨拶もそうそうに幸子さんはボクのネックレスをつまみ上げて、『あなたのネックレス汚

いわねー』と言います。それが最初の言葉でした。

シルバーは磨かないと黒ずんでしまいます。そんな状態です。幸子さんはコピーの失敗した裏紙に、その辺にあるサインペンで15秒くらいでさっさと絵を描いてくれました。

その後、たわいもない会話をしていると…絵の上のネックレスが磨いたようにピカピカになっているんです！

いったい何なの？

触ってもないのに、金属が輝き出しました。絵の上に置いただけです。

足立幸子さんはこうしたアートを描く人だというのは事前に聞いていましたが、こんな簡単に、しかも廃品利用（コピーの失敗した紙）で普通のペンで描いてしまいます。

その頃のボクの勝手なイメージは、アーティスト＝芸術家、とても気難しそうなのが芸術家なのかなと、変な想像がありましたが、幸子さんは気軽な、ざっくばらんとした性格の方でした。

代官山では数か月に一度お話し会を開催してくれていて、その度にお店に来てくれたので、『幸子さん、…〇〇をきれいする絵を描いて下さい〜』と、よくお願いしていました。

なんか懐かしいことです。今回思い出しながら書いてみました。

エノレコン by Dr. in NY

数年前の事です。ニューヨークで親しくさせて頂いているお医者さんにエノレコンさん⁴の大、中、小の3枚を体験してみてくださいと差し上げました。エノレコンさんとは何か、そしてどんなお手伝いをしてくれるかを簡単に説明したところ、興味があるとの事だったので早速持って行きました。持ちやすいように軽く3枚を丸めてそのまま手渡しました。先生はそれを大事そうに開き、自分の膝の上に広げて置きました。その仕草がエノレコンさんに敬意を表しているかのようで、私は少し驚きました。数人の人に過去エノレコンさんを差し上げていますが、この様な仕草を自然にそれも敬意を持って扱われたのを見たのは初めてでした。とても感動したのを覚えています。

その後彼にどうだったかを尋ねると、「まだ、心を落ち着かせて集中出来る時間がないので、試してない」との返事。その後暫くしてから、お水の味が変わっていたと報告してくれました。自分の心が冷静で集中できる日時を選び、エノレコンさんの上にグラスに入れた水道水を置いたそうです。時間は15分程度と。お水の違いはとても一般的にはとてもわかりづらいので、紅茶やコーヒーで試してみてもってあったのですが、彼は毎日飲んでいる水道水の味とくせを知っているのでお水を使ったそうです。そして15分という短い時間で見事にお水の味が変わったそうです。彼にとってこの様な体験は初めてなのでとても驚くと

共にこんなことが本当に起こるのだと驚いていました。未知の世界をのぞいたようで喜んでいました。その後先生がどんな活用の仕方をされているかはわかりませんがエノレコンさんが彼をサポートしてくれていると信じています。

私がここでもう一つシェアしたいことは彼のエノレコンさんに対する意識です。大切に敬意を持った意識で接した結果、エノレコンさんが見事に短時間でお水を調和して味を変えてくれました。私は先生のこの意識がエノレコンさんに通じてこの様な現象をきちんと彼にわかるように示してくれたのだと思いました。我々の“意識”は見えないけれど、振動波に乗ってちゃんと通じることを改めて見せられました。

宮崎ギャッチ郁子



ENOREQON エノレコン

青いスカーフ by ^{ふもとあんり}麓杏里さん

現在NYにて、フェイシャルエステやマッサージを提供しております、アンリと申します。宮崎愛子さんとは、クライアントでもありますお姉様のギャッチ郁子さん、お母様の雅子さんを通じて繋がりました。愛子さんの作品の青いスカーフについてのお話しです。

私は遺伝もあってか、元々喉が弱く、咳が出だすと止まらず、喘息と診断されたことさえないものの、高校時代全校集会中、社会人になってからも仕事に、特に喉が痛い訳でもないのに咳が止まらず、周りに心配されることもしょっちゅうでした。

ある時にお母様の雅子さんを施術している最中にも咳が止まらなくなり、その場を離れました。戻ってお詫びし、雅子さんに昔からこういう症状があるとお話しすると、郁子さんに相談してみたら？とご提案頂きました。郁子さんに相談すると愛子さんの青いスカーフをご紹介頂きました。それからなんとなく首に巻いたりして過ごしていました。しばらくするとNYはパンデミックでロックダウン、家の中で1日中スカーフを巻いて過ごしたりと、必然的にスカーフをつけて過ごす時間が増えていました。ロックダウンも明け、おおよそ日常に戻る翌年に気づいたのです。前のように咳の発作が出ていないことに。咳の発作があったこと自体を忘れてしまっていたくらいです。正直驚きました。

それからいつも枕元に置いて怪しいなと思う時につけたりしています。先日、足の甲を捻

挫してしまった際も湿布の上から巻いたりしていました。不思議なスカーフです。宮崎家の皆さまによって、愛子さんの青いスカーフと巡り合わせて頂き、大変感謝しております。



Intuition ARUT ポケットチーフ (は)

真のアートは真の科学 by 宮崎愛子

私は形態波動エネルギー研究所の足立育朗所長から「真のアートは真の科学」であることを絵を描くことによって学ばせていただきました。そして所長からアートを描くことを学んでいなければ、今の私はいません。あらためて御礼を申し上げます。

私のホームページ⁵に書かせていただいている内容と重複しますが、ここにどうしてこの体験に至ったかを少し書かせていただきます。

もともとデザインが好きだった私は、何かデザインに関わる仕事に就きたいと思い、はじめたのが「プリザーブドフラワー」でした。これなら見た目も綺麗だし、生花よりも長持ちするし、その頃在住していたニューヨークには無いとてもいいビジネスではと思いました。

でも、プリザーブドフラワーに携わるうちに、「お花に何てことをしているのだろう！」と気づいてしまったのです。花が一番みずみずしい時に水分を抜いて、保存液と着色をします。半永久的に持たせるようにする、要するに動物のはく製と同じです。

これは、人間のエゴです。自分達、人間が良ければいい。他の植物、動物、鉱物は奴隷化しても我々は平気なんです。それに気づいてしまったので、もう出来なくなりました。

でもアートは好きで、何か関わっていきたいと思っていたのですね。

その頃、姉(宮崎ギャッチ郁子)が絵を描きはじめていて、私も一緒に描きはじめました。幼稚園生みたいな絵です。今思えば、意味があって続けていたのですね。

絵の具やペンを使って紙の上にテーマをきめて描き続けました。形は気にせずに紙がパレットでその上で絵の具が混ざって自然と出来上がったアートです。それをしばらく続けて

みたら、何故か描いた絵から波動が出ていて、それが体や環境に影響するのを体験したので
す。

はじめは、半信半疑でした。描きはじめから数年後、描いたアートを DENEQEN⁴ さん
からスカーフにさせていただくこととなりました。ある日、腰痛がひどくそのスカーフを巻い
てみたら自分の体がとても楽になる体験をしました。目には見えないけれど、確かにアート
から波動が出ているんだと実感しました。そこから出ている振動波が細胞に伝わるような
のです。

人間だけではなく、アートが環境空間も変わる体験をしました。アートを飾っている空間
がとても気持ちが良くなる体験です。中村良子先生がおっしゃてるとおり、本来、生まれて
くる存在は全てアルト：ファルフであったのだと思います。

「真のアートは真の科学」、アートは絵だけではなく、文字、建築、音楽などを含めて他た
くさんあります。私は、絵をとおして学ばせていただくこととなりましたが、自分は特別で
はありません。この地球でひとり一人役割が違います。それぞれ、その人にあった方法で、
気づき、学ばれることと思います。これは良いとか悪いとか、自分は特別とかではなく、体
験しそこから本質を学ぶ。そして次につなげる。それが今地球上で生きている我々にとってと
ても重要だと実感しております。

¹FALF ファルフ：自然のしくみに適い調和のとれた振動波・時空元を受発振する蘇生化装置

²（形態波動エネルギー研究所、FALF 研究会通信 No.21 より引用。平成 30 年足立育朗のセミナーより）

³新生エンゼル・サチ実践研究会 www.sachiken.jp

⁴株式会社 DENEQEN さんホームページ。 <https://www.deneqen.jp>

⁵宮崎愛子ホームページ。 <https://www.intuitionarut.com>

⁶宮崎ギャッチ郁子ホームページ。 <https://www.livingintuition.org>

⁷ナガヤメディカルクリニック。 <https://nagayamedical.com/>

⁸只野富士男さんホームページ。 <https://www.harmonylife.ocnk.net>